

## 別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあつては名称) 株式会社フジ		住所	(法人にあつては主たる事業所の所在地) 〒 732-0814 広島県広島市南区段原南一丁目3-52広島段原ショッピングセンター5階	
本票作成	部署名： サステナビリティ推進室				
主たる業種	分類コード	56	業種名： 各種商品小売業		
事業の概要	食品スーパーマーケット、ディスカウントストアの経営				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	マックスバリュイオンタウン水島店		岡山県倉敷市水島高砂町3番35号	
	②	マルナカ新倉敷店		岡山県倉敷市玉島爪崎981-1	
	③	マルナカマスカット店		岡山県倉敷市松島1154-2	
	④	マルナカ山陽店		岡山県赤磐市下市133	
	⑤	マルナカ高屋店		岡山県岡山市中区高屋36-1	
⑥	マルナカ中島店		岡山県倉敷市中島2780-1		
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO <sub>2</sub> 換算3,000t以上 <input checked="" type="checkbox"/> 工場等の数 65 所 <input checked="" type="checkbox"/> 車両台数 (②該当の場合) 台				

温室効果ガス排出量	基準年度(令和元年度)	(令和5)年度排出量	目標年度(令和6年度)
	74,059 t CO <sub>2</sub>	54,721 t CO <sub>2</sub>	70,430 t CO <sub>2</sub>
主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(令和5)年度排出量
	①	マックスバリュイオンタウン水島店	1,804 t CO <sub>2</sub>
	②	マルナカ新倉敷店	1,840 t CO <sub>2</sub>
	③	マルナカマスカット店	1,832 t CO <sub>2</sub>
	④	マルナカ山陽店	1,405 t CO <sub>2</sub>
	⑤	マルナカ高屋店	1,335 t CO <sub>2</sub>
⑥	マルナカ中島店	1,123 t CO <sub>2</sub>	

削減目標の達成状況	計画期間：	令和2年度	～	令和6年度	(5箇年度)
	<input checked="" type="checkbox"/> 総排出量基準	(5)年度削減実績	目標削減率	目標達成	
	<input type="checkbox"/> 原単位基準	26.1 %	4.9 %	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	<input type="checkbox"/> 未達

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容	原単位当たり排出量		
		基準年度	(5)年度	目標年度
		CO <sub>2</sub> /( )	CO <sub>2</sub> /( )	CO <sub>2</sub> /( )

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(令和5年度)	達成率等
	食料品スーパー業	0.799 以下	0.862	92.7%

## 【削減状況の自己評価】

『省エネ』、『創エネ』、『再エネ調達』の3つの取組みでCO<sub>2</sub>排出量の削減を行い、目標4.9%に対し、実績26.1%と大きく達成できた。省エネとしては、『LEDの更新・導入』、『省エネ什器の導入』、『空調の更新』を実施。特にLEDの更新・導入(店内照明、店外照明、冷蔵ケース照明)が大きく影響している。創エネとしては、規模の大きい2店舗(マルナカ新倉敷店とマルナカ中島店)に、令和3年度に太陽光パネルをPPA方式にて設置したことが大きく影響。創エネの比率としては、マルナカ新倉敷店では、約10%、マルナカ中島店では、約20%となっている。再エネ調達では、全店舗を令和5年12月より、新電力の会社に契約変更を行い、全量分の非化石証書を購入している。店舗でも温度管理や消灯などの節電対策を実施。

**【推進体制】**

本社としては、カーボンニュートラル推進タスクチームを結成し、毎月カーボンニュートラルに向けた協議を行っている。店舗では、ISO14001の取り組みを中心に従業員への教育を進めており、特に電気使用量削減に対する取組では、店舗ごとに目標設定と進捗管理を実施し、後方へ実績掲示し「見える化」を実施し、従業員の意識を高めている。電気代が高騰していることが大きく影響しており、店舗の電気使用量（CO<sub>2</sub>排出量）への感心は高い。

**【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】**

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
全65店舗	<p>(令和5年度実施分)</p> <p>温室効果ガス排出量抑制に向け、全店65店舗で電気使用量の削減に取組み、冷蔵・冷凍ケースの定期的なハニカム・フィルター清掃実施、冷蔵・冷凍ケースの適正温度へ設定温度見直し、冷ケース（飲料・リカーコーナー）の一部消灯・一部非冷化、売場空調の設定温度26～28℃の徹底、事務所や休憩室不在時の消灯・空調電源OFF、売場スポット照明のまびき、事務所や休憩室など天井照明のまびき、冷ケース吸い込み口の清掃とロードラインオーバーの是正、閉店後冷ケースナイトカバー設置や保冷シート設置による保冷効果を高める事での節電など、主にソフト面での電気使用量削減に取組んだ。</p> <p>(今後実施予定分)</p> <p>太陽光パネル（PPA方式）の導入（令和6年度：マルナカ高柳店） 省エネ什器の導入（店舗改装時に実施） 省エネの取組みの継続（温度設定、清掃、消灯）</p>

**【森林保全等吸収源対策への取組】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【再生可能エネルギーの導入】**

県内での取組	有	太陽光発電2店舗導入済み。マルナカ新倉敷店【導入：令和3年7月 年間発電量：403千kWh 年間Co <sub>2</sub> 削減量213t-Co <sub>2</sub> 】、マルナカ中島店【導入令和3年7月 年間発電量：554千kWh 年間Co <sub>2</sub> 削減量293t-Co <sub>2</sub> 】
その他	有	まんのう公文店（香川県）【導入：令和5年2月 年間発電見込量：468千kWh 年間Co <sub>2</sub> 削減量226.5t-Co <sub>2</sub> 】

**【その他特記事項】**

旧マックスバリュ西日本株式会社は、2024年3月1日より、旧株式会社フジ・リテイリングと合併し、株式会社フジとなりました。  
令和5年12月より、岡山県内全店舗を対象に、使用電力量に対し、非化石証書を購入し、実質カーボンニュートラルを実現しております。